

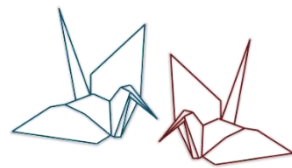
未来に向かって伸びる鶴嶺の子 鶴小だより 4月号

茅ヶ崎市立鶴嶺小学校
平成29年4月5日発行 Vol.29-1
校長 橋本 和男



109年目の春を迎えた
鶴嶺小学校の校旗
今年は「つる年!？」写真
右の折鶴は、卒業生が記
念に折ってくれました。110
周年に向かって、今年もま
た「ここに学びここに励む」
一年にしていきたいと思います。

新しい春  入学・進級
おめでとうございます。



鶴嶺小学校の今春の桜は、入学・進級にあわせて蕾を開き始めました。子供たちの新たなエネルギーに呼応しているかのようです。

そのフレッシュな気持ちを大事に受け止め、子供たちが大きく伸びることができる一年間になるよう、教職員一同張り切って頑張っています。

児童の成長を図っていくためには、豊かな「環境」を用意しなければなりません。次に、目標を達成する環境 ABC の構造図を示しました。双葉の成長は、低・中・高学年の児童の成長をイメージしています。環境の三つの要素について、右に説明をいたしました。植物を見たときにも、成長には「温かな日差し」「いのちを潤す水」「伸びるための栄養」が必要です。人間の心身ともに健やかな成長には、同様な環境が必要です。

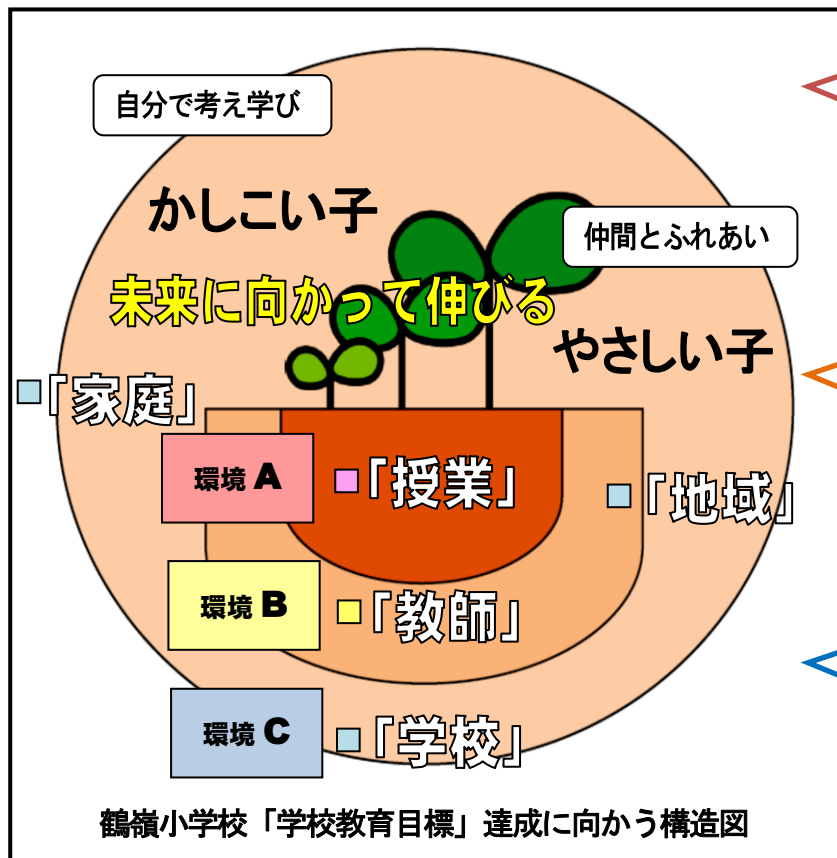
子供が育つ「学校」「家庭」「地域」。今年度も豊かで良い環境を生み出していくために、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

■教育の目標

未来に向かって伸びる鶴嶺の子

■学校教育目標 (伸びる児童の姿)

- 自分で考え学び 「かしこい子」
- 仲間とふれあい 「やさしい子」



A 授業

豊かな成長に直接に影響を与えるのは、日々の「A 授業」です。共に学びあう授業を用意していきます。

確かな学力を身に付けるためには、一人ひとりの児童に「わかる」ことの喜びと「できる」自信が必要です。

仲間と共に学びあい、自分で考え学ぶ児童を育てていきます。

B 教師

児童の成長にとって学校での最大の環境は、「B 教師」自身です。ご家庭では「保護者」の皆さんです。私達の「笑顔」は、子供たちへ安心と励ましのメッセージになります。

あたたかな眼差しと関わりを「マインドフル」と言います。愛情いっぱい育てていきましょう。

C 学校・家庭・地域

教育の当事者としての教師と保護者。その二者が子供の成長のために「よい関係」をつくっていくことが不可欠です。協同の取り組みです。

一緒に子供たちの成長のために頑張ってください。日々の出来事を成長につなげていきたいと思えます。地域は、私たちの応援団です。